

レポート Report

トリードインターナショナル ユースアカデミー2016

平成28年7月23日(土)から8月8日(月)にかけて、豊橋市6名、豊川市4名の高校生が豊橋市の姉妹都市であるオハイオ州トリード市にあるトリード姉妹都市協会主催の「IYAプログラム2016」に参加してきました。研修はトリード大学の全面的な支援の他、現地ボランティア大学生や、現地団体からの支援を得て、大変充実したものとなりました。このIYAプログラムにはパキスタンおよび中国からも同世代の若者たちが参加しており、英語学習だけでなく、多様な価値観を学ぶことができました。

英語学習は、トリード大学構内の教室および図書館を中心に行われました。ジュリアンとカレンという2人の教員がそれぞれ授業を担当してくれました。自己紹介や互いの文化の紹介と言ったコミュニケーション活動、“Who Moved My Cheese?”という本について読み進めていく活動、報道の自由についてそれぞれの考えを述べる活動、日本の紹介を英語で書く活動、アメリカ滞在中の思い出を文章にまとめる活動など、本当に様々な英語学習を行うことができました。



中国、パキスタンから参加の生徒やトリード大学生と

パキスタン人生徒たちは公用語が英語と言うこともあり、その語学力に驚かされましたが、日本人生徒たちも研修当初から積極的に発言するなど、大変意欲的に学習に取り組みました。もちろん、言葉の壁に当たることも幾度となくありましたが、それぞれがそれぞれのやり方でその困難を乗り越えてくれました。

IYAプログラムの素晴らしい点として、体験的な活動が豊富であることが挙げられます。初日の朝食用パンケーキ作りから始まり、ガラス作り体験、ピザ作り体験、屋外レクリエーション、新聞社訪問、野球観戦など、2週間という短い期間とは信じられないほど様々な体験をすることができました。また、それぞれのプログラムが日本人生徒だけで固まることのないよう配慮されており、言葉のやりとりが不十分であっても、自然とお互いが仲良くなっていくことができました。そのような雰囲気の中で、自然とアメリカの文化について学ぶことができました。

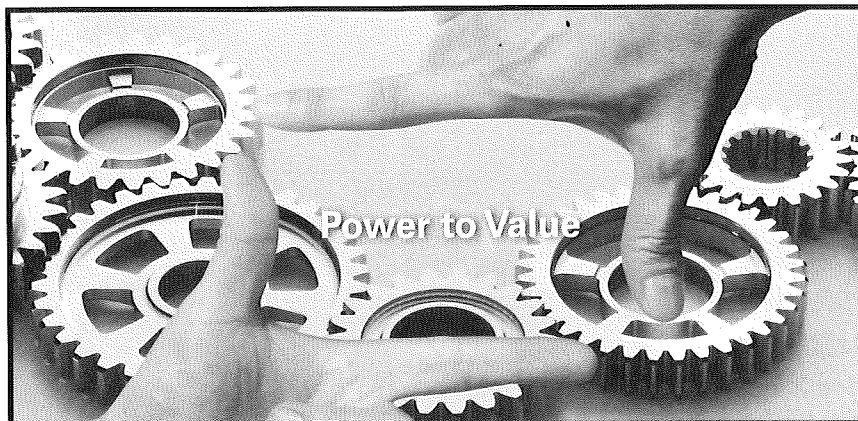
それぞれの訪問先では、現地の方々から様々な支援を受けました。美術館訪問では、現地のボランティアガイドの方が、芸術の素晴らしさを丁寧に解説してくださったり、野球場では始球式の体験をさせていただいたり、またどんな場所にも現地大学生ボランティアがサポートをしてくれたり、アメリカ人のホスピタリティーに感動しました。

(同行教員：豊橋南高等学校 森 典彦さんの報告書から抜粋)

〈派遣高校生の皆さん〉

豊橋市国際交流協会からの派遣：岡田明瑠人、後藤春花、笹本 唯、高井玲名、中田香織、濱田沙良

豊川市国際交流協会からの派遣：高田恭那、竹内里菜、田辺健人、辻本立樹



「チカラ」を「価値」に

 **MUSASHI**

武蔵精密工業株式会社

本社/豊橋市植田町字大膳39-5

<http://www.musashi.co.jp/>

